

# ジョージア政治・経済 主な出来事

【2017年10月16日～2017年10月22日】

[当地報道をもとに作成]

平成29年11月8日

在ジョージア大使館

## 1. アブハジア・南オセチア

### 【南オセチア】

#### ▼「南オセチア共和国外相」の欧州訪問(14日—22日)

・メドエフ「南オセチア共和国外相」がイタリア、サンマリノ、カタロニアを訪問。サンマリノではサンマリノ国会国際問題委員会委員長と会談。南オセチアの報道によれば、カタロニアに「南オセチア外務省代表部」が開設された。その後、スペイン政府は「南オセチア外務省代表部」の開設を否定する声明を発表した。

## 2. 外 政

#### ▼大統領のイタリア訪問(15日—17日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領がイタリアを訪問し、マッタレッタ伊大統領、グラッソ伊上院議長らと会談。「マ」伊大統領との会談では、二国間関係、ジョージアのEU・NATO加盟、国防・経済協力、エネルギー分野での協力の見通しなどについて議論。「マ」大統領は被占領地域の状況を説明し、不承認政策の重要性を強調した。

#### ▼ジョージア・アゼルバイジャン・トルコ統合参謀長会談(16日)

・ジョージア軍、アゼルバイジャン軍、トルコ軍の統合参謀長の2回目の会談がトビリシにて行なわれた。会談では、地域の平和の強化に向けた3か国の密接な協力の重要性が強調された。軍事教育の分野での協力、共同軍事訓練およびスポーツ大会の開催などの計画が検討された。会談の後、相互の領土一体性と紛争の平和的な解決を支持し、地域・世界の安定・平和への貢献の用意を表明する議定書への署名が行なわれた。

・イゾリア国防相は統合参謀長会談に出席したハサノフ・アゼルバイジャン国防相と会談。

#### ▼外相のベルギー訪問(18日—19日)

・ジャネリゼ外相がブリュッセルにて行なわれた欧州議会外務委員会会合に出席。「ジョージアは連合協定が求める以上のことを行なう用意がある」と述べ、EUのアジア市場へのアクセス、欧州のエネルギー安全保障におけるジョージアの役割を協調しつつ、被占領地域における民族浄化など人道問題を訴えた。

・「ジャ」外相はレンデルス・ベルギー外務・欧州問題担当相、チャルネツキ欧州議会副議長らとも会談を行なった。

#### ▼ポーランド外相のジョージア訪問(20日)

・ヴァシチコフスキ・ポーランド外相がジョージアを訪

問。マルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相らと会談。

・「ジャ」外相は、「ヴァ」ポーランド外相との共同記者会見で、「両国間に培われたパートナー関係は、欧州との統合に関し、我々に新たな展望をもたらすものである」と述べ、安全保障、国防、教育、文化およびその他の分野における二国間協力および貿易・経済関係の成長に焦点を当てた。

## 3. 内 政

#### ▼国会各委員会が2018年予算案を承認(18日)

・国会金融・予算委員会が2018年の予算案を承認。予算案は歳入10,120百万ラリ(2017年予算では9,480百万ラリ)、歳出9,500百万ラリ(同9,120百万ラリ)。9,470百万ラリの税収を見込む。2018年の経済成長の見通しは4.5%。

#### ▼選挙期間の政治資金(18日)

・国家監査局が地方選挙の選挙期間中7月1日から10月15日までの各政党への献金額を発表。ジョージアの夢・民主ジョージア11,640,441ラリ、自由のための運動・欧州ジョージア931,084ラリ、統一国民運動108,149ラリ、愛国者連合63,142ラリ、新ジョージア党35,100ラリ、民主運動・統一ジョージア31,486ラリなど。

#### ▼大統領が憲法改正に署名(19日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領は、13日に国会が大統領の拒否を覆して再可決した憲法改正に署名。憲法改正は2018年の大統領選挙後に発効する。大統領は、「国の不安定化を避けるため」署名するとしつつ、与党が単独で採択した憲法であると批判。

#### ▼マルネウリ地区での銃撃事件(20日)

・19日深夜、マルネウリ地区キズィラジュロ村の「ジョージアの夢・民主ジョージア」選挙事務所付近にて何者かがマルネウリ地区の小選挙区の地区議会議員候補者、地区議会の現職議員およびその家族の4人を自動小銃で負傷させた。負傷者は救急隊により病院に搬送された。いずれも命に別状はない。

・野党「自由のための運動・欧州ジョージア」のイマムクリエフ・マルネウリ地区長候補は、2か月前に与党「ジョージアの夢・民主ジョージア」のマルネウリ地区長候補者が変更されたことを踏まえ、事件が与党内の党内対立に起因するものであると発言。与党関係者は党内の対立を否定。

#### ▼地方選挙(21日)

・21日、全国で市長・地区長および市議会・地区議会議

員を選ぶ選挙が行なわれた。21 日夜に発表された投票率は 45.64%。

・22 日に中央選挙委員会が発表した暫定結果によれば、トビリシ市長選挙ではカラゼ与党候補が 51.12%の票を獲得。以下、エリサシヴィリ候補（無所属）17.49%、ウドゥマシヴィリ候補（統一国民運動）16.55%、ホシュタリア候補（自由のための運動・欧州ジョージア）7.12%、イナシヴィリ候補（愛国者連合）3.02%。

・クタイシ市長選挙および 5 地区（ボルジョミ、カズベギ、ハシュリ、マルトヴィリ、オズルゲティ）の地区長選挙で、最多得票者の得票率が 50%に届かず、決選投票が行なわれる見込み。その他の 3 自治市（バトゥミ、ポティ、ルスタヴィ）の市長選挙および地区長選挙ではいずれも与党候補が 50%以上の票を獲得した。

・トビリシ市議会では与党が 50 議席のうち 40～41 議席を獲得する見込み。

・地区議会選挙の比例代表制の結果は、与党 55.73%、統一国民運動 17.07%、自由のための運動・欧州ジョージア 10.4%、愛国者連合 6.56%、労働党 3.27%、民主運動・自由ジョージア 2.58%、新ジョージア党 1.23%。

・22 日、OSCE/ODIHR 選挙監視団は、地方選挙は総じて大きな問題なく行なわれたとの評価を発表。選挙期間中の問題として、各政党への献金額の大きな差が公平な競争を歪めていること、および、報道の自由に改善は見られるものの、メディアが二極化しており、一部のメディアが政治的に偏向していることを指摘。

#### 4. 経 済

##### ▼2017年9月の国際送金(16日)

・国立銀行の資料によれば、2017 年 9 月の外国からジョージアへの送金額は 124.4 百万ドル (306.8 百万ラリ)。前

年同月比 24.2%増。

・送金元の国別では、金額の大きい順にロシア 32.8%、米国 10.1%、イタリア 10.5%、ギリシャ 10.5%、イスラエル 9.3%、トルコ 7.7%。EU 諸国からの送金が 31.2%を占める。

・2017 年 9 月のジョージアから外国への送金額は 19.0 百万ドル (46.8 百万ラリ)。前年同月比 24.2%増。

##### ▼米商務省・企業代表団のジョージア訪問(18日～20日)

・米商務省および Coca Cola, VISA, Acrow Bridge, Nova Power など 12 の米企業の関係者のグループが、ジョージアのビジネス環境・投資機会を調査するためジョージアを訪問。19 日、代表団はクヴィリカシヴィリ首相およびガハリア経済・持続的発展相と会談した。「ガ」経済・持続的発展相は、「今は、米国との経済関係、特に貿易を強化する好機である」と述べた。

##### ▼2017年1月～9月の貿易統計(19日)

・国家統計局が 2017 年 1 月～9 月の貿易統計（速報値）を発表。貿易額 7,567.5 百万ドル（前年同期比 12.1%増）、輸出額 1,940.3 百万ドル（同 28.3%増）、輸入額 5,627.2 百万ドル（同 7.4%増）。

・輸出相手国の内訳は EU 諸国 23.8%、CIS 諸国 40.5%。輸入相手国の内訳は EU 諸国 28.5%、CIS 諸国 29.2%。国別では貿易額の多い順にトルコ、ロシア、中国、アゼルバイジャン、ウクライナ、アルメニア、ドイツ、米国、ブルガリア、イタリア。

・日本との貿易高は輸出額 5,124.9 千ドル、輸入額 98,737.2 千ドル。

##### ▼2017年9月の工業製品生産者物価指数(20日)

・国家統計局が発表。前月比 2.0%上昇、前年同月比 13.4%上昇。